

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	石井 奈央	職名	助教	学位	学士 (西南女学院大学 2003)
----	-------	----	----	----	-------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
看護基礎教育 基礎看護学教育	看護基礎教育 基礎看護教育 生活援助 遠隔実習 カリキュラム開発

研 究 課 題
看護基礎教育における清拭の教育内容に関する研究 コロナ禍における基礎看護学領域の学内実習のあり方

担 当 授 業 科 目
看護技術論 生活援助技術論演習 診療関連技術論演習 看護過程論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【看護技術論】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、オンラインと対面で講義を行った。オンラインでの講義では、学生がリアルに看護技術をイメージできるように、動画教材の作成を行った。1年次前期の開講科目であるため、初学者が躓きやすい点部分がより分かりやすくなるように、ナレーションや再生速度などを調整した。また身近な道具で自主練習する方法など、学生が自宅であっても技術練習に取り組み、学ぶ意欲が低下しないように努めた。技術演習では、わかりやすいよう大きな動きでデモンストレーションを行った。技術面だけでなく体の使い方など、これまでの生活の中で意識せずに行っていたことを意識的に模倣できるようなデモンストレーションを心がけた。実際の技術項目「ベッドメイキング」「シーツ交換」の場面では、技術の根拠や原理原則を学生とともに振り返り、何が出来ていて、何が出来ていないかともに考え、より上達するための方法を学生が考えられるよう支援した。</p>
<p>授業科目名【生活援助技術論】</p> <p>「全身清拭」「洗髪」「手浴・足浴」の講義と演習を担当した。清潔動作は、日々自分自身のために行っていることであるため、自分自身の清潔動作を意識化させるところから講義を展開した。清潔行動の方法は、人それぞれ千差万別であるが、その中にある原理原則・根拠がしっかりと伝わるような授業展開とした。また、皮膚や毛髪の構造と機能など、技術を行う上で不可欠な基礎的知識を講義の中で触れることや、講義資料で教科書だけでなく論文等のエビデンスを示すことにより、科学的根拠に基づいた技術が習得できるように工夫した。演習では、実際の方法やその根拠、患者役の感想など演習課題を提示することで、目的意識をもって演習に臨めるように配慮した。また、清潔技術は患者役となる学生が肌を露出することとなるため、カーテンを確実に占めるなどして学生のプライバシーが守れるように配慮した。1年次後期の開講であったため、部屋の気温に配慮しながら感染予防対策として換気を行った。</p>

**授業科目名【看護過程論】**

仮想電子カルテを作成し、患者情報の提供を行った。仮想電子カルテでは、可能な限り臨床に即した内容になるよう配慮した。情報を与えられるだけでなく意図的に情報収集することが出来るよう、様々な項目を作成した。グループワークでは、1年次コロナ禍で人間関係が十分に成立していない学年であることを考慮して、人間関係が円滑になるよう声かけを行った。学生が理解できない部分を、会話の中から把握し、既習内容であれば想起できるように、未習内容であれば解説を行い一定の理解度をグループ全体でそろえたうえで、より発展的な学びとなるように文献を提示した。科目の内容上、未就学の内容が含まれるため、グループ全体の理解をそろえディスカッションが成立するよう努めた。

**授業科目名【早期看護実習・基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ】**

早期看護実習では、本来であれば病院を見学し、看護師が働く様子を身近で観察することで、今後の学習の動機づけとなったり、それまで学んできたことがどのように現場で生かされているかを理解したりする、重要な機会であるが、コロナ禍によって実際に臨床の場に身を置く体験が出来なかった。そのため、様々な動画教材を作成し病院の理解が少しでもリアリティを持つように工夫した。病院だけでなく、様々な場所で活躍する看護職を紹介し、従来より視野の広い実習となったが、やはり、臨地でしか学びえないこともあった。

基礎看護学実習Ⅰも、臨地で実習がかなわなかったため、学内実習を行った。新型コロナウイルス感染症が流行しており完全リモートでの実施となった。グループでディスカッションをする際は、カメラのON、OFFなどメリハリをつけ、学生たちが自宅であっても学ぶ時間であること意識づけしながら行った。また、仮想患者と学生がリモート上で会話する際は、可能な限り音声や映像がクリアであるように配慮した。患者とのコミュニケーションを振り返る場面では、コミュニケーションを取った学生が「責められた」と感じるがないように注意した。

基礎看護学実習Ⅱ（臨地）では、感染症対策を行い学生の安全に十分に配慮した。1年次コロナ禍によって臨地での実習が出来ていない状況であったため、「環境に慣れること」「患者とのコミュニケーション」「医療スタッフとの関係づくり」など学生たちが、臨地で不安なく実習できるように配慮した。また、感染症対策のため、様々な制限がある中での実習であったため、臨床実習指導者との連携を密にとり、円滑に実習が進むよう調整した。（学内）学内での実習は、「仮想電子カルテ」を作成し、可能な限り現実の病院に環境を近づけ、リアリティを少しでも持たせられるよう工夫した。学生自身の気付きや学びを肯定的にフィードバックすることに努めた。不足がある部分に関しては、そこを指摘するだけでなく、どうすれば克服できるかについて学生と話し合った。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
福岡県看護協会		2020年4月～（現在に至る）

所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
福岡県看護協会		2020年4月～（現在に至る）

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
3年アドバイザー（2021/4/1～2022/3/31） 実習コーディネーター（2021/4/1～2022/3/31） 解剖学実習引率 職員研修委員